

| | | | |
|-----------|---|--|------|
| 早稲田アカデミー | 6年 | | |
| | 算数 | | |
| 学習内容 | 6月の学習内容 13回 数と規則性 (2) 14回 総合 (予習シリーズ6年④第10回～第13回) 15回 速さ (2) 16回 立体図形 (2) | | |
| 家庭学習ポイント | 第13回は「数と規則性 (2)」というテーマですが、具体的には約数、倍数に関連する問題の様々なバリエーションをすべて総ざらいする内容となっています。「○でわっても■でわっても・・・」は定番ですね。公倍数、公約数と求める数の関係を整理して頭の中にまとめていきましょう。倍数の個数の問題ではベン図、割り切れ回数では素因数分解など、他の具体的な解法知識も、この機会にすべて整理して使える状態にしておきたいですね。総合回をはさんで第15回は「速さ (2)」です。こちらのテーマは「上位校で扱われる速さの問題のバリエーション整理」です。速さを比で考える問題は定番ですが、「の比の比」と呼ばれる「速さ・時間・距離」の2つの比からもう1つの比を考える問題も、難関校志望ならしっかりマスターしておきたいですね。第16回は立体図形ですが、こちらも入試直結の様々なバリエーションを総復習します。回転体は作図まではしっかりできるお子さんが多いのですが、最後まで正しく計算できるかどうかハードルがありますね。投影図解法による表面積や最短距離の展開図解法など、 | | |
| 課題の把握と解決策 | チェック1 | 「○でわっても■でわっても・・・」関連の問題をマスターしていますか？ | チェック |
| | 解決策 | 公倍数or公約数、あまりor不足をしっかりと読み分けて解けるようにしておきたいですね | □ |
| | チェック2 | 総合回の学習でうまくそれまで数回の復習はできていますか？ | チェック |
| | 解決策 | 特に6年生は1回の授業で扱う内容が多いので「総合回で追いつく」スタイルでもいいでしょう | □ |
| | チェック3 | 立方体の切断の様子を「わかった状態」で作図できていますか？ | チェック |
| | 解決策 | 今ひとつ納得がいかないのなら、腑に落ちるまで先生に質問してみましょう | □ |
| | チェック4 | 図形の移動の問題は、自分で図を書いて移動の様子を確かめていますか？ | チェック |
| | 解決策 | これをやっていないと、思わぬところで足を取られることがあります。徹底しましょう。 | □ |
| | チェック5 | 毎回の授業が「解法の確認」になっていますか？ | チェック |
| 解決策 | 忘れていること、知らないことが多すぎて...という状態は危険です。すぐに先生に相談を | □ | |
| 早稲田アカデミー | 6年 | | |
| | 国語 | | |
| 学習内容 | 6月の学習内容 13回 説明文・論説文(4) 人間と社会 因果関係②—〈因果関係〉の文脈—四字の熟語② 14回 総合 (予習シリーズ6年④第10回～第13回) 15回 詩・短歌・俳句 単語の学習①—助動詞の総復習 故事成語 16回 説明文・論説文(5) 日本語と私 単語の学習②—助詞の総復習 類義語 | | |
| 家庭学習ポイント | 第13回は説明文・論説文の読解、テーマは「人間と社会 因果関係②」です。中学入試で扱われる「人間と社会」というテーマは、現代社会において人間の営みにどのような問題点があるのか、という描かれ方をしたものが多く、その流れに沿って読み進めていけばいいでしょう。切り口としては因果関係をもとに紐解いていくというものになっています。こちらも入試問題では定番の流れですね。語句の学習は四字熟語です。第14回の総合回をはさんで、第15回は詩・短歌・俳句といった韻文の学習です。韻文の問題に触れる量が他の文種に比べて圧倒的に少ないため、読解の方法や表現技法についての知識が曖昧なままのお子さんが多くいます。第15回では詩・短歌・俳句それぞれについて読み方を解説していますから、苦手なままここまで来たというお子さんは、この機会にしっかり身につけてしまいましょう。今一度、予習シリーズの解説をしっかりと利用することを思い出してください。第16回は再び説明文・論説文。テーマは「日本語と私」です。予習シリーズの冒頭部分では、それぞれの回のテーマについてわかりや | | |
| 課題の把握と解決策 | チェック1 | 毎回の「テーマ」を意識して読解に取り組んでいますか？ | チェック |
| | 解決策 | 予習シリーズの冒頭部分のまとめは、読解問題の傾向について非常に端的に書かれています | □ |
| | チェック2 | 詩の読解では、情景を映像のように思い描きながら読んでいますか？ | チェック |
| | 解決策 | 詩以外にも、物語文などでもこの方法をためてみましょう | □ |
| | チェック3 | 正解した問題についても予習シリーズの解説を読んでいますか？ | チェック |
| | 解決策 | 「国語が大得意」でなければ読んだほうがいいでしょう。自分の回答とは別の視点が見つかります | □ |
| | チェック4 | 「ことばのきまり」ページで指示のある「過去の予習シリーズ」に戻って復習していますか？ | チェック |
| | 解決策 | 6年生のシリーズは「思い出す」という構成なので、思い出さなければ戻って復習しましょう | □ |
| | チェック5 | 語句の学習をコツコツと進めていますか？ | チェック |
| 解決策 | 朝学習などで取り組むようにしてみてください | □ | |

| | | | |
|-----------|--|---|------|
| 早稲田アカデミー | 6年 | | |
| | 理科 | | |
| 学習内容 | 6月の学習内容 13回 気体・金属 14回 総合（予習シリーズ6年①第10回～第13回） 15回 ヒト 16回 気象 | | |
| 家庭学習ポイント | 第13回は気体と金属についてのすべてを復習します。気体については酸素、二酸化炭素、水素など主な気体についての性質、製法などについて、第8回「燃焼」で学んだ内容との関連も重要です。金属についてはアルミニウム、鉄、銅などの主な金属の性質と水溶液との反応、熱の伝え方、燃焼とさびなど、要するに「全部のせ」の内容です。「ここが苦手だった、わからなかった」という事柄があったら、できるだけその週のうちに先生に質問するなどして解消する必要があります。総合回をはさんで14回「ヒト」も同様です。これまで学んできた人体の知識、消化・吸収や血液の循環、呼吸や生殖などすべてが1回の授業範囲に含まれますから「この1回で忘れていたことを思い出して…」と考えているとたちまち回らなくなります。この流れについていくには、徹底して「もうOKなこと」と「身につけられていないこと」に「仕分け」をして後者に全力投球することです。1回の学習範囲が非常に広いので、1週で完全に習得してしまうつもりで取り組むのはもちろんですが、ある程度抜け漏れが見え、組分けテストの直しと合不合判定テストで補足していくという考え方も必要です。 | | |
| 課題の把握と解決策 | チェック1 | 各回の扉ページ「基本のまとめ」をしっかりと読んでいますか？ | チェック |
| | 解決策 | この時期はすでに「大体わかっているもの」として授業が進みます。「基本のまとめ」はマストです | □ |
| | チェック2 | 各回の内容で「身につけていなかった」ものの対処法は決まっていますか？ | チェック |
| | 解決策 | 塾の先生に聞く、個別や家庭教師を採用する、など。少なくとも上記の「仕分け」はしましょう | □ |
| | チェック3 | 主な気体の性質を整理して記憶できていますか？ | チェック |
| | 解決策 | おもなところでは空気と比べた重さ、色、におい、水へのとけやすさなどですね | □ |
| | チェック4 | 消化と吸収について、整理して記憶できていますか？ | チェック |
| | 解決策 | 栄養素別ではなく、消化器官ごとに整理しておくとしっくりします | □ |
| | チェック5 | 日本の四季の天気について、ストーリーのように知識をつけられていますか？ | チェック |
| 解決策 | 日本を取り巻く4つの気団の性質を軸に「夏に発達するのは小笠原気団だから」といった流れで | □ | |
| 早稲田アカデミー | 6年 | | |
| | 社会 | | |
| 学習内容 | 6月の学習内容 13回 現代の日本と世界(2) 14回 総合（予習シリーズ6年①第10回～第13回） 15回 政治・外交史(1) 16回 政治・外交史(2) | | |
| 家庭学習ポイント | 13回「現代の日本と世界(2)」が終わると、7月上旬の第2回合不合判定テスト前までに終わるペースで政治・外交史の復習を進めていきます。江戸時代から明治維新の政治史において重要かつ入試頻出なのが、江戸中期の5代将軍徳川綱吉、8代将軍徳川吉宗、老中田沼意次・松平定信・水野忠邦らの政治です。それぞれの将軍や老中がどのような政治をしたかも重要ですが、6年生のこの時期に問われるのが「流れ」です。これは「明治時代から昭和時代」では特に顕著で、事柄も登場人物も多い近現代では、年号の暗記だけで対応するのではなく、出来事の因果関係などから考えることが必須になります。たとえば八幡製鉄所は、ロシアとの戦争に備えるために日清戦争の賠償金で作られたわけですから、当然流れは「日清戦争⇒八幡製鉄所⇒日露戦争」となる、などです。第15回は「自然と環境」で、日本がこれまで経験してきた自然災害（台風・火山の噴火・地震など）や環境問題について学びます。 | | |
| 課題の把握と解決策 | チェック1 | 各回の授業で「ちんぷんかんぷん」と感じることはないですか？ | チェック |
| | 解決策 | 事前に予習または暗記テキストで該当範囲を確認して授業に臨むなど工夫しましょう | □ |
| | チェック2 | 歴史用語について「なぜそれが起こったか」を説明できますか？ | チェック |
| | 解決策 | つねにこのことを考えながら暗記するよう心がけましょう | □ |
| | チェック3 | 総合回の学習でうまくそれまで数回の復習はできていますか？ | チェック |
| | 解決策 | 特に6年生は1回の授業で扱う内容が多いので「総合回で追いつく」スタイルでもいいでしょう | □ |
| | チェック4 | 日本の「世界自然遺産」はいくつありますか？ | チェック |
| | 解決策 | 知床・白神山地・屋久島・小笠原諸島を答えられるようにしておきましょう | □ |
| | チェック5 | SDG sを日本語にするとどうなるか説明できますか？ | チェック |
| 解決策 | 「サステナブル ディベロップメント ゴールズ」いずれも6年生は聞いたことはありそうです | □ | |